

防災・安全交付金整備計画
事後評価書
(久慈市)

平成29年12月22日

防災・安全交付金事業 事後評価書

平成 29年12月 日

計画の名称	25 安全、快適なまちづくりに向けた道路の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	久慈市
計画の目標			

- ① 地域住民の交流・連携の促進、ひとに優しいまちづくり、だれもが快適で安全・安心に生活できる交通環境の創出を推進する。
- ② 交流の円滑化・健全な市街地形成の促進と共に、都市機能の充実を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）			
(1) 道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率			
(2) 通学路の歩道整備率			
(3) 街路整備による主要な公共施設等への到達時間の短縮率			

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
(1) 既存道路の要対策箇所と対策済箇所により、以下の式で算出する。 対策済箇所数／要対策箇所数×100（％）	0.00%	41.86%	100.00%	
	0.00%	37.21%	41.86%	
(2) 通学路における歩道整備率であり、以下の式で算出する。 歩道整備済延長／通学路延長×100（％）	27.24%	32.72%	32.89%	
	27.24%	29.05%	29.84%	
(3) 整備による時間短縮効果であり、事業区間の整備前及び整備後の走行時間により、以下の式で算出する。 100－（Σ整備後の走行時間／Σ整備前の走行時間）×100（％）	0%	31%	31%	
	0%	31%	31%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	971百万円 703百万円	A	971百万円 703百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0% 0.0%
-------	---------------	------------------	---	------------------	---	--------------	---	--------------	-------------------------	--------------

事後評価	
○事業評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
久慈市建設部土木課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、評価を実施した。	平成29年12月
	公表の方法
	久慈市HPにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業（道路事業）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
25-A-3	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	改築	(他)白前4号線外 白前	防雪柵0.8km 防雪柵0.3km	久慈市					120		
															120		
25-A-4	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	修繕	(1)小久慈線他 田高	舗装補修4.9km 舗装補修2.9km	久慈市					315		
															160		
25-A-5	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	修繕	(1)外川井線外 川井外	橋梁修繕17橋 橋梁補修7橋	久慈市					257		
															246		
25-A-7	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	交安	(他)二十八日町新井田線 表町	歩道新設(踏切拡幅)1箇所 歩道新設(踏切拡幅)0箇所	久慈市					30		
															14		
25-A-8	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	交安	(1)上長内日吉町線 日吉町	歩道設置2.7km 歩道設置1.3km	久慈市					160		
															106		
25-A-9	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	交安	(1)日吉町字部線 柏木	歩道設置0.1km 歩道設置0.0km	久慈市					10		
															0		
25-A-10	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	交安	(他)二十八日町新井田線 新井田	歩道新設1箇所 歩道新設1箇所	久慈市					10		
															8		
25-A-11	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	修繕	(1)久喜漁港線 久喜	法面保護0.23km 法面保護0.008km	久慈市					34		
															23		
25-A-12	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	改築	(1)久慈駅東口線 川崎町	電線共同溝 L=1,100m 電線共同溝 L=0m	久慈市					30		
															20		
25-A-13	道路	一般	久慈市	直接		市町村道	計画・調査	(2)三崎線他 小袖	道路ストック総点検(法面等) 道路ストック総点検(法面等)	久慈市					5		
															6		
											小計	971					
												703					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		(1) 既存道路における要対策箇所への対策状況が目標値の半分以下であることから、事業効果の発現は高いとは言えないため、引き続き事業実施により要対策箇所を解消する必要がある。 (2) 歩道の整備率は向上しており、歩行者への快適で安全な交通環境創出がされてきてはいるものの、整備率向上によるより一層の快適空間の確保を要する。 (3) 街路整備により、公共施設等（県立久慈病院）への走行距離が短縮された。									
II 定量的指標の達成状況	指標① 道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災に伴う災害復旧及び復興事業との兼ね合いで予定していた事業の進捗に遅れが生じた。 要対策箇所への整備に伴う用地買収が難航したことによる事業進捗に遅れが生じた。 歩道整備に係る用地買収について、交渉が難航したことや権利関係が複雑化している箇所が複数箇所存在したことが整備率低下につながっている。 計画とおり事業が進捗し、目標を達成することができた。 						
		最終実績値	41.86%								
	指標② 通学路の歩道整備率	最終目標値	32.89%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	29.84%								
	指標③ 街路整備による主要な公共施設等への到達時間の短縮率	最終目標値	31.00%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	31.00%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		(1) 防雪柵が整備された2路線については、冬期間の吹きだまり等に対する効果が図られ、一部冬期間の安全で円滑な交通が図られている。 (2) 舗装補修事業が必要な路線は残っているが、交通量の多い市街地の要対策箇所については快適で安全な交通確保が図られた。 (3) 二十八日町新井田線 新井田における歩道整備は完了したことから、歩行者に対する安全確保が図られた。									

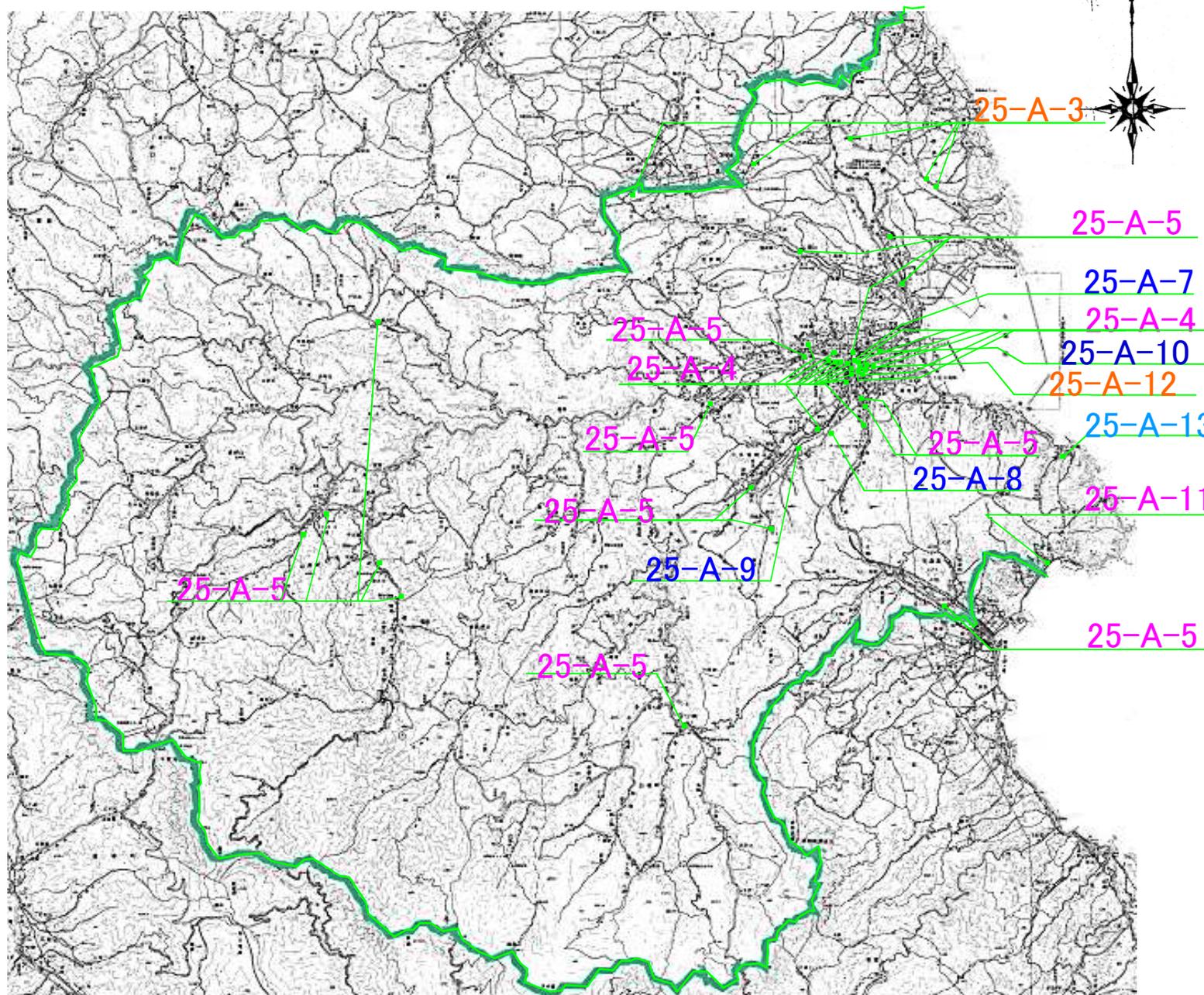
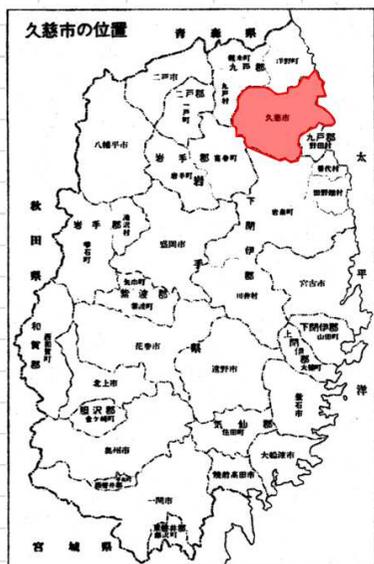
3. 特記事項（今後の方針等）

平成27年度以降についても、以下の事業について継続して事業実施及び効果発現に取り組む。

- 補修系事業について、舗装補修については交通量等を勘案しながら、また、橋梁については、長寿命化修繕計画に基づき補修を進めていく。
- 防雪柵設置に係る事業について、要対策箇所が残っており、平成27年度以降も継続して整備に取り組む。
- 歩道設置に係る事業について、早期完成による歩道ネットワークの形成による安全で安心な交通空間の確保を目指す。
- 防災・安全・景観の観点から、市道久慈駅東口線における電線共同溝整備を進めていく。

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	25 安全、快適なまちづくりに向けた道路の整備 (防災・安全)	交付対象	久慈市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



【凡例】	
■ 基幹事業(A)	
△ 関連社会資本整備事業(B)	
○ 効果促進事業(C)	
《事業識別》	
改築系	
補修系	
交安系	
計画・調査	